

株主通信

第68期

2014年4月1日～2015年3月31日

企業理念

私たちは地球人の一員として、公正・誠実に誇りを持って行動し、顧客満足度の高いサービスを提供し続け、より良い社会の実現に貢献します。

コーポレートスローガン

日本語：あなたの夢に挑戦します。

英語：(We are) Making your dreams come true

中国語：挑戰你的夢想

TOP
INTERVIEW

中期経営計画「躍進2016」達成に向け 全社一丸となって邁進します。



2014年度を総括するとともに、
新社長に就任した抱負を聞かせてください。

2015年1月5日付で、代表取締役社長に就任いたしました先濱一夫でございます。「高機能・高専門性を基盤としてグローバルに進化する企業集団」として蝶理グループがさらなる発展を遂げていくために力を尽くす所存です。今後とも変わらぬご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、2014年度の経済情勢は、政府による経済対策や日本銀行の追加金融緩和を背景に企業業績に改善が見られ、緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、消費税増税後の個人消費は力強さに欠ける状況が継続しました。また、為替相場や原油価格の急激な変動による収益への影響が懸念され、加えて、国際的には新興国経済の成長減速や地政学的リスクの不安感もあり、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下、中期経営計画「躍進2016」の初年度として諸施策を着実に遂行した結果、売上高、営業利益、経常利益は前年度を上回り、当期純利益は大幅な増益を達成することができました。

代表取締役社長

先濱一夫



2015年度に注力する取り組みを聞かせてください。

2014年度からスタートした中期経営計画「躍進2016」の達成に全力を傾ける方針には変わりはありません。「連結経営基盤強化」「人的基盤強化」「新規開発・M&A」の基本戦略のもと、事業拡大を推進していきます。中でも力点を置いているのが、グローバル経営による連結経営基盤強化です。繊維、化学品、機械の3事業共にスピード感を持ってグローバル展開を進め、「海外で稼ぐ力」を強固なものにしたいと考えています。

繊維事業では、繊維素材と繊維製品の連携を進めながら事業拡大を目指し、海外での販路開拓を加速します。素材から製品まで一貫して手がける当社の強みを生かし、中国国内市場や欧米

市場に加え、ASEAN諸国へも販売を拡大していきます。また、ASEANを中心に、生産拠点の再構築を図り、ローコストオペレーションを推進します。化学品事業においては、貿易戦略を強化するべく、パフォーマンスケミカル部を新設し、商材のグローバル展開を更に推進していきます。また、ASEAN、インド、中東、アフリカなど成長市場への展開加速に加えて、最大の市場である北米市場も強化し、貿易ビジネスを更に拡大していきます。

「人的基盤強化」では、若手社員を積極的に海外拠点へ派遣するなど、グローバル人材の育成を進め、成長市場への駐在員の拡充を進めています。同時に、ナショナルスタッフの積極活用や幹部職への登用を進め、ローカライゼーションの強化を推進しました。商社の財産は人です。今後、日本と海外の力量を組み合わせることで、更なるグローバル化を実現します。

「新規開発・M&A」では、「中長期開発テーマ推進委員会」と「M&A推進委員会」が主体となり推進しています。今年5月には、化学品専門商社のミヤコ化学(株)を子会社化しました。今後も引き続き、新規開発・M&Aを通じて、事業範囲、連単倍率を拡大してまいります。

蝶理が目指す中長期的な将来展望を聞かせてください。

「躍進2016」の2年目にあたる2015年度は売上高3,100億円、経常利益68億円を計画しています。2020年度ビジョンとして、売上高4,000億円、経常利益100億円を掲げ、全社一丸となって取り組んでいきます。当社を取り巻く外部環境は目まぐるしく変化しますが、我々はその変化を敏感に、いち早く捉えて前進していきます。市場の変化を読んで、グローバル化と専門性に磨きをかけ、「躍進2016」の達成に向け、邁進していきます。



▶ 財務ハイライト

前年同期比増収増益を達成

売上高



営業利益



経常利益



当期純利益



配当金

第68期の配当は、増配(33円→34円)となります。

特集

中期経営計画 「躍進2016」進捗状況

世界へ 未来へ

目標達成に向けた着実な歩み

2014年度は、中期経営計画「躍進2016」の初年度として「連結経営基盤強化」「人的基盤強化」「新規開発・M&A」の基本戦略に基づき、事業拡大を進め、前年比増収増益を達成しました。
2015年度は、ミヤコ化学(株)の子会社化実行により、増収増益の目標達成に向け、「躍進2016」の諸施策を着実に推進してまいります。



※2015年度(予想)は、売上高を2,800億円から上方修正しました。
2016年度(計画)は、「躍進2016」の計数計画を据え置いております。

基本戦略に基づく取り組みの進捗

連結経営基盤強化

① 連結事業基盤強化

- ▶ 常に将来を見据えた事業ポートフォリオを設計し高いROA水準を維持
- ▶ 全社活動CHORI Innovation 活動(CHOI活)の推進
- ▶ 為替変動への耐性を強化

特に売上高が伸長している海外を中心に、連結グローバルをベースにした経営基盤の強化を図りました。繊維事業を中心に不断の事業の見直しを実行し、常に将来を見据えた事業ポートフォリオを設定することで、高いROA(総資産利益率)水準を維持しています。また、全社を挙げてCHORI Innovation 活動(CHOI活)を進め、問題点・改善点を洗い出し、無駄を徹底的に排除しました。さらに、グローバル展開の拡大や海外現地法人の取引増加により、為替変動に対する耐性の強化にも取り組みました。



② 海外事業強化

海外事業の強化を進めています。売上高に占める輸入・輸出・海外売上高の比率は80%を超え、高水準で推移しています。また、2015年1月にウルムチ事務所を設置し中国西北地域の開発に取り組み、2015年4月には、蝶理インドが本格的に業務を開始し、主に化学品事業の拡大に取り組んでいます。



人的基盤強化

① ローライゼーションの推進・強化 ② 人材育成

海外での人材確保・活用を強化しました。現地法人でナショナルスタッフを積極的に活用し、また、幹部職への登用も行い、優秀な人材が多様なフィールドで活躍しています。一方で、独自の教育プログラムや海外トレーニー制度を拡充し、世界で力を発揮できるグローバル人材の確保・育成にも力を注いでいます。



新規開発・M&A

① 新規開発 ② M&A

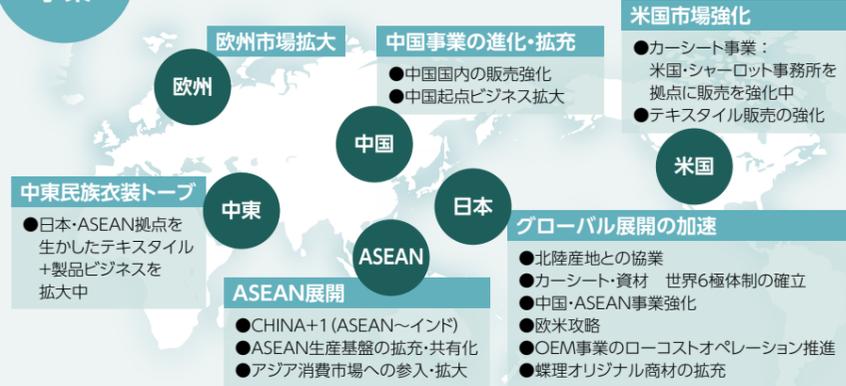
新規開発では、拡大事業範囲の対象を生活関連(生活消費、生活文化、健康・少子高齢化)及び産業関連(環境・省資源、先端材料、産業機器)に定め、定期的に「中長期開発テーマ推進委員会」を開催し、開発テーマの選定、進捗状況の確認を行っています。M&Aでは、「M&A推進委員会」で個別案件の評価を行っています。2014年5月には、シルバー・ミセス層をターゲットとした婦人服製造・販売会社である(株)東京白ゆり會を、また、2015年5月には、化学品商社のミヤコ化学(株)の子会社化しました。今後も引き続き、新規開発・M&Aを通じて、事業範囲の拡大・連単倍率の拡大を推進します。



セグメント別事業の進捗

繊維事業

素材から製品までの垂直型グローバルコラボレーションを加速



繊維事業においては、素材から製品までを一貫して手掛ける強みを生かし、垂直型グローバルコラボレーションを加速させています。中国国内対応を強化する他、欧州や米国、ASEAN、中東への販売を拡大しました。一方、ASEANを中心とした各地の製造・縫製拠点を生かし、ローコストオペレーションを推進しました。
また、インドネシア国内で素材から製品までの一貫体制を構築するインドネシアプロジェクト事業が本格的に稼働しました。こうした取り組みの結果、特に素材分野が堅調に推移し、増収となりました。一方、不断の事業の見直しに伴う一過性の損失が発生したこともあり、税金等調整前当期純利益は減益となりました。

化学品・機械事業

ニッチな市場、ニッチな商材でグローバル展開を加速



化学品・機械事業においては、マーケットの多様化に合わせ、ニッチな市場、ニッチな商材でのグローバル展開を強化しました。ASEANでは、サニタリー関連やフードケミカル関連などの新商材の開拓を進める他、アメリカでは、スタッフを増強し、市場・商材開拓に取り組んでいます。また中国では、青島紅蝶新材料有限公司に出資し、液晶ディスプレイガラス、コンデンサーの原料などへ事業を拡大しています。加えてインド・中東・アフリカといった新規市場にも開拓の手を広げています。その結果、化学品事業では、円安に伴って輸出が拡大し、増収となりました。とりわけファインケミカル関連が堅調に推移したことが収益に貢献し、税金等調整前当期純利益も増益となりました。機械事業においては、中南米向け車輻事業の取引形態変更により、減収となりましたが、実質取扱高への影響はなく、税金等調整前当期純利益は増益となりました。

M&A 化学品商社ミヤコ化学株式会社を子会社化

2015年5月、化学品商社であるミヤコ化学株式会社(以下、ミヤコ化学)の全株式を取得し、子会社化しました。ミヤコ化学は1921年創業の業歴90余年を有する化学品・合成樹脂・医薬品・食品・包装材・電子部品等の原料・製品及び周辺材を取り扱う商社で、幅広い商品と良質な取引先等の基盤を構築しております。

この子会社化により、ミヤコ化学が国内で調達する商材を当社の海外ネットワークを活用して貿易取引の拡大を図るとともに、当社が海外で調達する商材をミヤコ化学の国内販売先へ展開することで、新規市場開拓・市場シェアの拡大を実現するなど、化学品事業全般でのシナジー効果が期待できます。

また、ミヤコ化学の売上規模・収益は安定しており、連結業績への寄与が期待できることから、この子会社化は、

当社グループの事業範囲と連単倍率の拡大を推進するものです。

◆ミヤコ化学の概要

名称：ミヤコ化学株式会社
所在地：東京都千代田区九段南一丁目6番17号
代表取締役社長：小島 昇(当社元常務取締役)
資本金：296百万円
設立年月：1947年11月
当社出資比率：100%
取得価額：6,608百万円

◆ミヤコ化学の業績及び財政状態(2014年12月期)

売上高：57,390百万円 総資産：21,894百万円
営業利益：1,100百万円 純資産：5,020百万円
経常利益：1,095百万円
当期純利益：1,129百万円

インドネシアプロジェクト 染色加工合併会社「ウラセ・プリマ」本格稼働開始



日本の染色加工大手のウラセ株式会社とインドネシアの総合繊維メーカーであるダリアテックスとの合併でインドネシアに染色加工合併会社「ウラセ・プリマ」を設立し、インドネシア西ジャワ州に工場を建設しました。当社の出資比率は12.5%です。

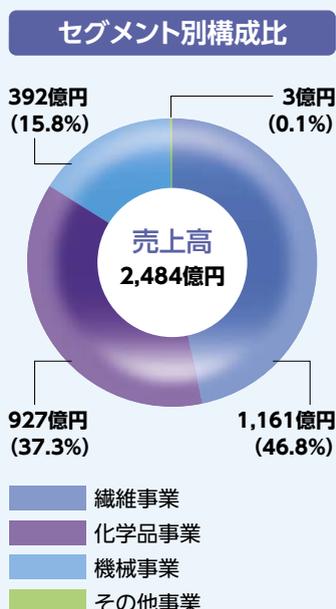
2015年4月よりテスト稼働を開始し、5月より商業生産を開

始しました。中東向け商材の生産を手始めに、資材、衣料関連へと商材を拡張し、更に日本向けから欧米向けへの販売拡大を目指しています。

既にインドネシアでは現地の協力工場と婦人向けフォーマルスーツ・セットアップスーツ等の縫製事業を開始しており、今回の事業開始により、素材調達から、染色加工、縫製までの一貫生産体制が整いました。

今後は素材から最終製品まで提案するサプライチェーンを武器に繊維事業の飛躍的な事業拡大を目指します。

▶ セグメント別業績概況



繊維事業

売上高 **1,161** 億円
営業利益 **33** 億円
税金等調整前当期純利益 (セグメント利益) **27** 億円

好調 中東民族衣装
堅調 合繊原料、インナーウェア

化学品事業

売上高 **927** 億円
営業利益 **21** 億円
税金等調整前当期純利益 (セグメント利益) **25** 億円

好調 無機ファインケミカル、医農薬中間体
堅調 フードケミカル

機械・その他事業

売上高 **396** 億円
営業利益 **1** 億円
税金等調整前当期純利益 (セグメント利益) **1** 億円

堅調 中南米向け車輛
開発 環境関連

会社概要 (2015年3月31日現在)

商号 蝶理株式会社
 CHORI CO.,LTD.
 本店 大阪府大阪市中央区淡路町一丁目7番3号
 資本金 68億円
 設立 1948(昭和23)年9月2日
 [創業1861年(文久元年)]
 決算日 3月31日
 従業員数 単体425名(連結1,091名)

(注) 上記単体従業員には、他社への出向者53名が含まれています。

役員一覧 (2015年6月15日現在)

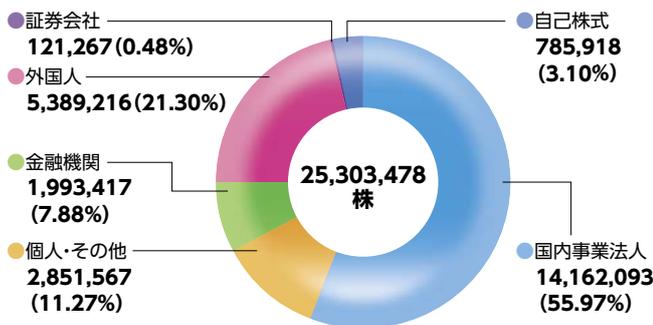
代表取締役社長 先瀨 一夫
 専務取締役 初谷 雅行
 常務取締役 安藤 敏彦、伊勢田 長生
 取締役 井上 邦久、藪 茂正、渡辺 裕之、
 下河邊 和彦*(独立役員)
 常勤監査役 青山 正史、正広 秀樹
 監査役 柘田 章吾**、奈良 道博***(独立役員)
 執行役員 圓井 亮、汪 奮毅、速水 淳、吉田 裕志
 中山 佐登子、郷田 範泰

(注) 社外取締役を除く取締役は全員執行役員を兼務しています。
 (注) *は会社法第2条第15号に定める社外取締役です。
 (注) **は会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

株式情報 (2015年3月31日現在)

発行可能株式総数	55,000,000 株
発行済株式総数	25,303,478 株
株主数	6,530 名

所有者別分布状況 (単位:株)



(注) 「個人・その他」には、株主名簿上は当社の名義ですが実質的に所有していない株式100株が含まれております。

大株主

株主名	所有持株数(千株)	持株比率(%)
東レ株式会社	12,967	52.89
ビービーエイチ ファイデリティ ピューリタン ファイデリティ シリーズ インタリシツク オポチユニティズ ファンド	1,250	5.10
インタートラスト トラスティーズ(ケイマン)リミテッド ソールリー インイツ キャパシティー アストラスティアー オブ ジャパン アップ	746	3.04
株式会社ワコール	548	2.24
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズ ストック ファンド(プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	495	2.02
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リ ファイデリティ ファンズ	237	0.97
メロン バンク トリーティー クライアーツ オムニバス	231	0.95
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	213	0.87
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	203	0.83
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	188	0.77

*上記のほか当社所有の自己株式785,918株(3.10%)があります。
 ※持株比率は、自己株式(785,918株)を控除して計算しております。
 ※所有株式数は千株未満を切り捨てています。
 ※所有株式数の割合は小数第3位を四捨五入しています。
 ※日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)、日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)の所有株式数は、すべて信託業務に係るものです。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日	
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)	
定時株主総会	毎年6月中	
単元株式数	100株	
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部	
公告方法	電子公告(http://www.chori.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。	
郵便物送付先 電話お問い合わせ先 お取扱店	証券会社等に口座をお持ちの場合 お取引の証券会社等になります。	特別口座の場合 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部 フリーダイヤル 0120-288-324(土・日・祝日を除く9:00～17:00) みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗) みずほ信託銀行 本店および全国各支店
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。 証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続を行っていただく必要があります。 みずほ証券で単元未満株式の買増請求手続をされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。